

令和4年度事業計画書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

【公益目的事業】

(1) 普及・啓発事業

イ) 骨粗鬆症に関する啓発資材・資料の作成と配布

既存資材；

- ・紙資材は自治体・個人賛助会員へ提供無料、医療機関からは実費負担をお願いする
- ・既存資材をスライドショーなどに再編成し、動画化してYou Tube投稿

新規資材；

- ・ポスター「検診を受けましょう／FRAX(仮)」 ※日本宝くじ協会助成金申請中
- ・リーフレット「予防のために検診を受けましょう」(自治体検診担当者使用)

ロ) 広報①: ホームページ、You Tube、SNSによる情報発信

ホームページ；

- ・コンテンツの精査と充実(特に「Q&A」ページの見直し)
- ・「病医院紹介ページ」の充実、骨を守る会の紹介

You Tube、SNS；

- ・世界骨粗鬆症デーに関する発信(世界骨粗鬆症デーイベントを実施している団体を紹介等)
- ・投稿用動画作成(料理コンテンツ等)

広報②: マスコミ(新聞・雑誌・テレビ・プレス発信媒体)等の利用

- ・ニュースリリース配信サービス(PRタイムズ等)
- ・ライフサイエンス社発行『OPJリエゾン』の編集協力

ハ) 検診に関する取り組み

- ・自治体の健康指導・骨粗鬆症検診向けコンテンツ作成 →前述イ)
- ・練馬区の検診事業協力
- ・FRAX、DXA、QUSの位置づけと推進

ニ) 世界骨粗鬆症デー(WOD)キャンペーン

① 財団主催イベント(共催含む)

*金沢市、松本市、呉市

*2022～スタート 大阪市、山武市、延岡市 その他 浜松市、練馬区

(チラシ配布、ライトアップ、キャンペーンバナーの掲示、広告、測定体験、講演会等)

各地域の「骨を守る会」におけるWODイベントバックアップ

② 広報

*WODポスター2022 作成・配布

*駅や交通機関などのデジタルサイネージ(電子ディスプレイ)掲示

*SNSによる発信(共通のハッシュタグによるキャンペーン)

③ 他健康施策団体・自治体・医療機関へのWOD啓発(Take Action for WOD)

各施設・エリアのイベントを骨粗鬆症認定医・骨粗鬆症マネージャー・健康施策担当者らが中心となって自主的に開催する流れを広げていく目的

- *WOD紹介スライド、イベント等で使用可能な素材データ提供
- *実施団体をYouTube等で紹介
- *第24回日本骨粗鬆症学会におけるシンポジウム開催
(テーマ「わが国におけるWOD活動～今後の展望～」)

ホ) 骨量測定拡大キャンペーン

- ・QUSによる骨量測定体験会
小～中規模会場での骨量測定体験会や健康度チェックなどの実施
- ・他の団体、企業、学校等が実施する骨量測定体験会を支援
「企業による社員健康診断」「訪問介護ステーション」を会場にした測定会等
文京区「ハッピーベジタブル・フェスタ」参加

ヘ) 「骨を守る会」の支援・連携の拡大

- ・各地域の「骨を守る会」によって実施されている市民啓発活動の支援
札幌、東京における「女性の日(女性の健康週間)」イベント(3月)立案
- ・各地域の「骨を守る会」に対し活動資金を助成

ト) セミナー・講習会の開催

- ・骨量測定法講習会「精度よくDXAで骨量を測るためのe-ラーニング」(You Tubeにて公開中)

(2) 研究助成事業

イ) 「令和5年度 財団研究助成」の実施

アムジェン株式会社協賛による臨床研究に対する研究助成

- ・募集期間 令和4年7月1日～8月31日
- ・選考委員会 令和4年10月予定
- ・研究期間 令和5年1月～12月
- ・助成件数 10題(100万円/題)

令和4年度募集分より:

- ・テーマの原則は「骨粗鬆症に関する臨床研究(但しロモソズマブ、デノスマブに関する研究は除く)」
- ・募集要項の変更を行う
若手の医療従事者及び研究者を対象とする、複数年にわたる研究も可能とする、大腿骨近位部骨折
全国調査やデータベース(特にNDB)調査による観察研究を指定課題として設定する など
- ・研究後報告会の機会を新設
Japan Bone Academy(例年、11月-12月ごろ開催)にて、「骨粗鬆症財団研究助成」成果報告のセッションを設ける等

(3) 調査・研究事業

イ) 論文投稿: 平成29年度事業からの継続

A-TOP研究(JOINT研究(02、03)での被験者データ)を用いた高齢者の病態の多様性

ロ) 年度別骨粗鬆症検診率(全国・各都道府県)の公表

厚生労働省公表の全国骨粗鬆症健診実施データを活用し、自治体単位での骨粗鬆症健診の実施率を調査、同じ手法で毎年同様の実施率を公表する

ハ) 大腿骨近位部骨折数全国調査

継続の検討(手法、担当者、時期、その他)

(4) 情報収集 & 国際交流

イ) IOFとの情報交換と連携

Virtual WCO-IOF-ESCEO 2022

IOF Regional 9th Asia-Pacific Conference

IOFによるWODイベント(IOFのSNSアカウントによる各国のイベント紹介に投稿)

ロ) 行政情報収集 & ロビー活動

厚生労働省健康局 がん対策・健康増進課 WOD等イベントの後援申請
健康日本21推進全国連絡協議会など関係団体との情報交換

(5) その他

【収益事業等】

イ) 著作権関連事業

「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン」をはじめ、財団資料・ホームページなど、骨粗鬆症財団が有する著作物を営利目的で使用する場合の譲渡又は提供

【その他】

イ) 賛助会員増強や寄附金募集の推進

賛助会員の新規加入や寄附金の獲得に引き続き努める